

アヤメキバガの防除とトラップ調査について

小川恒彦・久保晴盛

アヤメキバガ（メイチュウ）はキバガ科の害虫であり、その防除が全国のハナショウブ園で課題となっている。平成29年1月に日本花菖蒲協会よりアヤメキバガのトラップ調査の依頼があり、本園のほかに北海道札幌市、青森県十和田市、岩手県平泉町、富山県砺波市、茨城県土浦市、静岡県河津町の全国7地点で一斉調査を行うこととなった。平成29年4月から10月まで、ハナショウブ園の2か所（トラップA：ハナショウブ園上段、トラップB：ハナショウブ園下段 [うらら池側新ハナショウブ園]）にトラップを設置し（写真1）、週1回の調査を行ったので、その結果を報告する。なお、全国の結果を取りまとめた報告は日本花菖蒲協会より刊行される予定である。

トラップ調査を行った結果、調査期間中のべ799匹のアヤメキバガを捕獲した（表1、図1）。アヤメキバガは、5月下旬に突発的に発生

した。具体的には、4月1日のトラップ設置から、5月22日までの間は1匹も確認されなかったが、5月29日には188匹（A：136匹、B：52匹）が捕獲された。その後は9月下旬まで断続的に発生した。アヤメキバガは新芽を食害することから、発生後の生育が悪くなり、早期防除が必須である。防除のために、オルトラン、アグロスリン、トレボン乳剤の各殺虫剤を使用した。すべての薬剤に効果が認められたが、発生時期が長いと、様子を見ながら複数回薬剤散布を行うことが必要であった。



写真1 アヤメキバガ捕獲調査用トラップ

表1 アヤメキバガのトラップ捕獲数 *4/1~5/22, 9/26~10/16の期間は捕獲なし

調査日	5/29	6/05	6/12	6/19	6/26	7/03	7/10	7/18
トラップA	136	22	19	39	19	11	7	3
トラップB	52	17	16	26	21	3	6	0

7/24	8/01	8/07	8/14	8/21	8/28	9/06	9/11	9/19
0	17	75	63	15	63	13	2	5
0	10	31	42	15	36	13	0	2

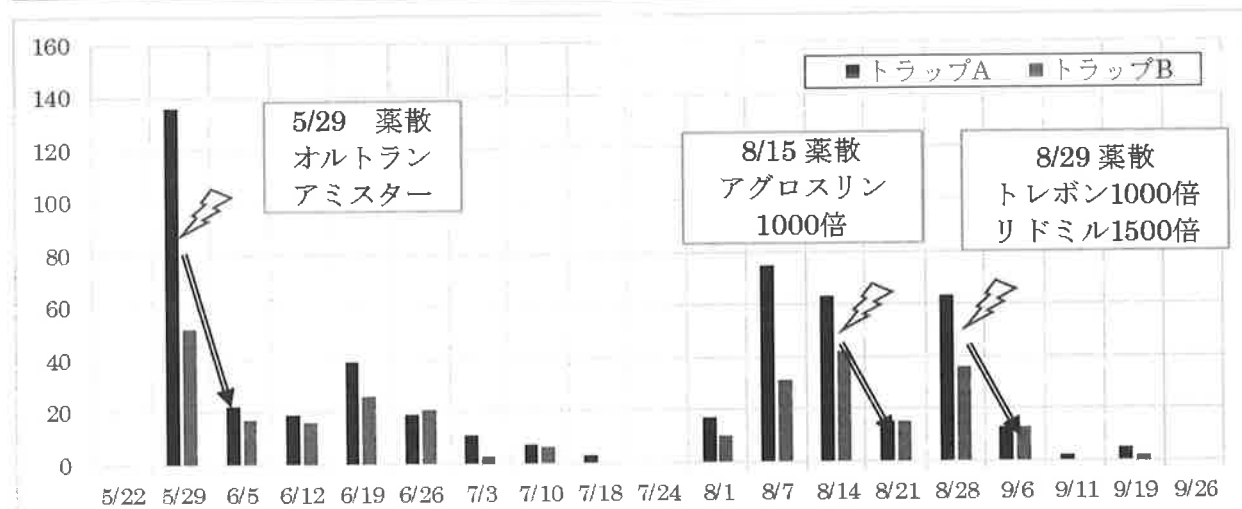


図1 アヤメキバガのトラップ捕殺数と薬剤散布の関係